（様式２）

研究業績等の記述について

1. 「論文」は査読のある原著論文を意味しており、これを適当なテーマ別に分け、その中で年度・月順に並べ、ナンバリングをすること。

２．同じ内容の論文については、同じ番号にダッシュ（´）を付すること。

３．連名論文の内、連名者の誰かがドクター論文として使用した場合は、その人の名前の肩にＤ印を付けること。

４．国際会議論文、解説、総説、学会発表等は、論文の次に別に記入のこと。

５．論文等は、掲載（発表）済みもしくは掲載（発表）が決定したものを記入することとし、投稿中などの未確定なものは除くこと。

６．「学会ならびに社会における活動」、「教育等に対する貢献」については、サンプルを参考にして内容を適当に判断すること。

７．特許があれば、その出願状況を記述する。

８．外部資金については、過去5年程度のものを記述する。ただし、募集要項に指定がある場合は、それに従うこと。

研　究　業　績

　　氏　名　府大　太郎

Ⅰ 著　書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 著　書　名 | 発行所名 | 発行年月  （西暦） | 著者、分担執筆者等 |
| 1. 化学ことはじめ  2. 化学入門  3. Physical Handbook（The 3rd Edition）  　Chapter 5  以上、著書総数3報  （うち、単著1報、分担執筆2報） | 関西出版社  （総ページ数：123）  府大出版社  （pp.85-110）  Haagen-Dazs Inc.  （pp.123-154） | 2012.5  2013.7  2014.6 | 府大 太郎  　府大 太郎  　市大 花子  府大 太郎  （分担執筆） |

Ⅱ　論　文

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 論　文　名 | 発表機関名（雑誌名）、巻号、ページ | 発表年月  （西暦） | 著者 |
| **A.化学物質が示す物理化学挙動に関する研究**  1.Exerimental Study on Chemical-Induced Structural Transition of ABC  **B. 化学物質の合成に関する研究**  1. Synthesis of Chemical Martials by  Continuous Reaction  2. Characterization of Material by Scanning Electron Microscopy | J. Phys. Chem. A, Vol.100, pp.12-18  J. Advanced Chemistry,  Vol. 20, pp.100-107  Chemical Surface Analysis,  Vol. 10, pp.200-205 | 2010.3  2015.7  2016.12 | T. Fudai  H. Ichidai  J. Osaka  T. Fudai  H. IchidaiD  J. Osaka  H. Ichidai  T. Fudai  J. Osaka  S. NagoyaD |
| **C. 物理現象の解析に関する研究**  1. 天体の位置と動きの測定に関する研究  1’ Measurement of Position and Motion of  Celestial Bodies  （論文1の英訳）  以上、論文総数4報  （うち、筆頭著者・責任著者数3報） | 天体科学  [http://www.science-direct/publication](http://www.science-direct/publications)  /jse/v10n1/Schafer-234.html  J. Astrophysics  Vol. 25, pp.95-105 | 2017.2  2017.8 | 府大 太郎\*  市大 花子  T. Fudai\*  H. Ichidai |

Ⅲ　国際会議論文等

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 論　文　名 | 学会名、論文等の番号、場所 | 発表年月  （西暦） | 著者 |
| **A.化学物質が示す化学挙動に関する研究**  1. Numerical Study on Chemical Behavior of AB-CDE  **B. 化学物質の合成に関する研究**  1. Synthesis of Chemical Martials by  Batch Reaction  2. Characterization of Material by Scanning Electron Microscopy  **C. 物理現象の解析に関する研究**  1. Analysis on Lunar Movement by using a Telescope  以上、国際会議論文発表総数4報  （うち、筆頭著者数3報） | Proc. of the 2013 AChS (American Chemical Society) Annual Meeting, pp.123-134  (San Francisco, USA)  Proc. of the10th USA-Japan Symposium on Chemicals & Physics, Paper #452 (Total 5pages)  (CD-ROM)  (Orlando, USA)  Proc. of the 5th International Conference on Chemistry, pp.12-15  (Kobe, Japan)  Proc. of 10th  International  Conference on  Lunar, p.204  (London, UK) | 2013.5  2014.12  2015.9  2017.8 | T. Fudai  H. Ichidai  J. Osaka  H. Ichidai  T. Fudai  J. OsakaD  T. Fudai  J. Osaka  H. Ichidai  S. Nagoya  T. Fudai  H. Ichidai  J. Osaka |

Ⅳ　解説・総説等

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 論　文　名 | 発表機関名（雑誌名）、巻号、ページ | 発表年月  （西暦） | 著者 |
| 1. 化学物質が示す化学挙動に関する研究  以上、解説・総説総数1報  （うち、筆頭著者は1報） | 化学と産業,  Vol. 10, pp.100-103 | 2015.4 | 府大 太郎  市大 花子 |

学会ならびに社会における活動

　　氏　名　府大　太郎

|  |  |
| --- | --- |
| 年　　月　　日  （西暦） | 事　　　項 |
| 2010年4月1日  　　　　　～2017年3月31  2012年4月1日  　　　　　　　～現在  2014年4月1日  　　　　　　　～現在  2015年4月1日  　　　　　　　～現在  2015年4月1日  　　　　　　　～現在 | 化学物理工業会　学生会員  物理化学会　正会員  化学物理学会　理事  大阪府公害対策審議会委員  通産省産業技術審議会専門委員 |

教育等に対する貢献

　　氏　名　府大　太郎

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 科　目　名　等 | 事　　　項  （日付は西暦） | 備　　考 |
| ティーチング・アシスタント  （京東大学工学部）  （学域）  化学実験  化学実験Ⅱ  （大学院）  化学物理特論 | 2010年4月1日～2010年8月31日  2011年9月1日～2012年3月31日  2014年4月1日~現在  2014年4月1日~現在  2014年4月1日~現在 | 従事  分担  分担  担当 |

※助手・TAの期間中は､備考欄に全て従事と記入（助教の場合は、分担か担当を記入）

特　　許

　　氏　名　府大　太郎

Ⅰ 特許登録

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 特　許　名 | 特許登録番号 | 登録年月  （西暦） | 発明者 |
| 1. 化学物質の計測方法 | 特許第501234号 | 2016.4 | 府大 太郎  市大 花子 |

Ⅱ 特許公開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 特　許　名 | 特許公開番号 | 公開年月  （西暦） | 発明者 |
| 1. 化学物質の製造方法 | 特願2015-23456 | 2015.6 | 府大 太郎 |

外　部　資　金

　　氏　名　府大　太郎

Ⅰ　科学研究費補助金等

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究課題名 | 研究種目名 | 期　間 | 金　額  （千円） | 代表・分担の区別 |
| 1. 化学物質の測定方法に関する研究  2. 化学物質の分析手法に関する研究 | 科学研究費補助金・基盤研究（B）  科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究 | 2010.4～  2013.3  2015.4～  2017.10 | 総額25,000  （分担9,000）  総額3,500 | 分担  代表 |

Ⅱ　教育・研究奨励寄付金等

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究課題名 | 寄付申込先 | 期　間 | 金　額  （千円） | 代表・分担の区別 |
| 1. 化学物質の合成法に関する研究 | 日本合成学会  (大学院生研究奨励賞) | 2010.5～2011.3 | 150 | 代表 |

Ⅲ　受託研究等

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究課題名 | 受託研究先 | 期　間 | 金　額  （千円） | 代表・分担の区別 |
| 1. 化学物質の連続反応に関する研究  2. 化学反応の解析に関する研  　 究 | 反応合成財団  化学反応振興財団 | 2014.4～  2015.3  2015.4.～  2016.3 | 総額20,000  総額10,000  （分担0） | 代表  分担 |

Ⅳ　共同研究等

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究課題名 | 共同研究先 | 期　間 | 金　額  　（千円） | 代表・分担の区別 |
| １．化学物質の微量合成 | 株式会社ABC | 2015.4～  2016.3 | 総額4,000 | 代表 |